

# 第39回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 確認事項 《チーム用》

文責：大会トーナメントディレクター 杉原 治



## ◆ベンチ

1. チームベンチに入ることができるのは、選手および代表者・監督・コーチ・手当者(救護員)とする。
  - ・代表者・監督・コーチ・手当者(救護員)は、ベンチ入りの際「IDカード」を着用すること。
  - ・監督・コーチについては、H29年度JHA登録者であること。登録証」携帯
  - ・選手は、ユニフォームを着用する。ただし、メンバーに入れなかった同種別の団員がベンチに入る場合は、ユニフォーム以外のそろいのシャツを着ること。
2. 「手当者(救護員)」について
  - ・手当者(救護員)は4名ベンチに入ることができる。
  - ・手当者(救護員)は、試合毎にエントリーフォームに氏名を記載することにより、試合毎に変更しても構わない。なお、ベンチ入りの際は、IDカードを着用すること。
  - ・手当者(救護員)は、成人であること。

## ◆事前練習

- ・第1試合のチームは、試合開始30分前から試合開始10分前まで競技コートでの練習を認める。第2試合以降の競技コートでの練習は、TOの判断による。
- ・天然芝生エリアに設けたウォーミングアップ場での練習を認める。ボールを使う練習については軽いヒットまでとする。

## ◆メンバーチェック等

1. スターティングリストは、大会本部に試合開始30分前に提出。
  - \*チームユニフォームの色が重ならないよう、チーム間で友好的な解決をお願いします！
  - \*スターティングリストの間違ひについては、監督会議後に訂正受付をします。(以降は認めません)
  - \*スターティングリストの提出時間厳守をお願いします。提出に遅れるチームがあると、公式記録用紙等の作成が遅れ試合開始時刻が遅れてしまうことがあります！
2. メンバーチェックは、次試合テントにて試合開始15分前に実施。各チームの監督は、メンバーチェックの前、下記の点を確認すること。
  - ・「登録証」によるメンバーチェック (個別に持参/写真添付をしておくこと)
  - ・選手の健康状況 (明らかに熱中症等の疑い・・・試合には参加させられません)
  - ・ヘアピン、アクセサリーや金属の装着不可
  - ・スティックの破損はありませんか？
    - \*穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらいます！
  - ・GKのアンダーパットの装備 (お子さんの将来を考え奨励しています)
  - ・熱中症等で人数がそろわない場合、早めにTDへ報告すること。
3. PC時に使用する「マスク」「グローブ」も、このタイミングでTOの確認を受ける。

## ◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始1分前に、

「ジャッジ席前整列」～「トス」～「ジャッジ席にあいさつ」～「コートへ散る」

《終了時》1日目…「センターであいさつ」～「相手を讃えるセレモニー」へ

2日目以降…「センターであいさつ」～「握手」～「別れ」

\*試合終了後、相手チーム、本部への挨拶は「なし」とします。その分、握手の時に、相手選手と話をしてください。

#### ◆競技中

##### 1. 予選リーグは、前後半各10分で5分の休憩。

(休憩4分を目安のホーンが鳴ったら速やかに準備を)

##### 2. PC時のフェイスマスクは、ゲームが途切れた時にゴール裏に置くよう指導を。

今年度の競技規則より、フィールド内に残っていたPC時に使用した装具にボールが当たった場合、それがサークル内ならPC、サークルの外ならばFHとなることが明記された。

##### 3. フリーヒット時はボールをしっかり止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボールを止める動作をはっきり行う。(特に破線部分の)ドラックによるスタート(進入)は認めない。ただし、スクープを直接上げることは認められるようになった。

##### 4. リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。(安全第一)

なお、ふりかぶつてのリバースシュートは禁止とする。

##### 5. 6人制ルールの確認 (スポ少・中学生・6人制ルール)

○サークル内での攻撃側の反則はピンポイントFHの要領と同様。

○PCのフライングおよびフェイント(攻撃側・守備側)は、罰則としてセンターラインに戻す。

○退場(黄色カード)は3分以上。(時間の計測アンパイア)

○グリーンカードは警告のみ(退場はなし)

○給水タイムの採用もなし。

○コーナーの再開位置は、昨年度よりボールがバックラインから横切った地点の延長線上で、バックラインから16m地点とする。

○ハイスティックルールを、安全確保のため適用する。

#### ◆ベンチワーク

\*ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」のどちらか一人とする。

\*今大会では、コーチングエリアを設けるので、立ち上がっての指導はコーチングエリアにて行うこと。

\*コーチングエリアは、チームベンチから防球ネットまでの1mの範囲とする。

\*アンパイアに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。TOからのカードによりベンチから退場もあり得る。(応戦席の管理をしっかり行う)

特に指導の必要な監督には、TDおよびスポーツ少年団部会で対応する。

全チーム監督は「行動規範確認書」に署名し提出する義務があり。

#### ◆S O戦(予選リーグの順位決定・フレンドリーリーグの順位決定)

\*予選リーグの順位をS O戦で決めなければならない時は、空いているコートで実施する。実施コートについては、放送等により連絡する。

S O戦の可能性のあるチームについては、結果が確定するまで会場から帰らないこと。

#### ◆選手交代の手順

\*今大会では、選手交代用のラインを設ける。

○監督は、交代選手に何番の誰と交代か伝える。

○交代選手は、スティックを持ち交代エリアへ。)

- ジャッジテント前の交代ラインに立つ。
- （交代番号表を上げ）交代選手の名前を呼ぶ。
- コート内の選手が出てから、交代する選手は入る。フライング交代は厳禁。
- なかなか交代ができない場合など、交代が滞っていたら、監督が交代ラインまで出向き交代を援助することができる。
- PC中の選手交代はできない。

◆負傷・事故発生時の対応について

- \*負傷により手当要請をした場合、2分間はベンチで静養する。
- \*顔・頭部・心臓付近の負傷については、本人の意思に関係なく、安全確認のため一旦ベンチに下げること。
- \*GKが負傷した場合
  - ・GKなしのゲームは認めない。
  - ・控えのGKがいない場合、フィールドプレイヤーが防具を着装すること。
- \*救護所
  - ・熱中症等の疑いがある場合は、**大会本部内救護所**に冷房設備を完備しておりますので、ご利用ください。
  - ・**看護師**が常駐する。
  - ・また、大きな事故があった場合は119番通報により救急車で搬送する。
- \***落雷の危険がある場合の避難所として、試合中の当該チーム及び次試合チームは、大会本部B1へ避難するその他のチームは、各チームバス又は管理棟へ避難する。**

◆その他

- カメラマン（チーム随行カメラマン）について
  - ・受付を通ったカメラマンについて、撮影許可のビブスを着用し、撮影が許されたエリアで（防球ネットの外側）から撮影を許可する。
  - \*ケガは自己責任で。アンパイアーの指示には必ず従うこと。
- ベンチ内での撮影について
  - ・ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内（テント内）で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが（カメラ・ビデオともOK）、ジャッジ席からの指示には速やかに従うこと。